とちぎ農産物マーケティング協会 月刊情報

平成30年 6月号 vol.129

平成30年度とちぎフレッシュメイト(第17代目)決定！！

５月24日(木)栃木県ＪＡビルにて、平成30年度とちぎフレッシュメイト審査会を開催した。
一般応募者14名の中から書類審査・面接審査を経て、宇都宮市在住江連聖莉奈（えづれせりな）さん21歳学生、宇都宮市在住金柿亜美花（かながきあみか）さん20歳学生、宇都宮市在住佐藤愛純（さとうあすみ）さん20歳学生３名を決定した。

６月１日(金)には認定式を行い、当協会髙橋会長から認定書が手渡され、「栃木県には素晴らしい農産物ブランドがあるが、その良さを伝え切れてないところがある。皆さんは、ブランド力の向上のために努めてほしい。」と激励した。

フレッシュメイトは、「栃木県産農産物の良さを多くの方々に笑顔でＰＲし、県産農産物のイメージアップに努めます。」と宣誓した。

６月11日(月)栃木県知事やＪＡ全農とちぎ、各関係機関等を表敬訪問、６月29日(金)当協会通常総会で会員の皆様にお披露目を予定。

とちぎフレッシュメイトは、栃木県産農産物のイメージアップを図るために各イベント等でＰＲ活動を行う。

左から: 佐藤愛純さん　江連聖莉奈さん
金柿亜美花さん

髙橋会長から認定書授与

◈ デスティネーションキャンペーンイベントを活用した県産農産物ＰＲ 産直市「いきあう！とちぎ」

5月14日(月)東京駅動輪の広場にて、産直市ＰＲイベント「いきあう！とちぎ」が開催された。会場内では、栃木県産農産物や加工品などの販売や抽選会などで会場を盛り上げた。
また、ＰＲステージでは、とちぎフレッシュメイトと観光キャラバン隊による、リーディングブランド農産物のＰＲと観光ＰＲを実施し、効果的なＰＲ及び栃木県へ誘客促進を図った。

果樹部会全体会議開催

５月11日(金)ＪＡビルにおいて、各ＪＡなどの梨部会長並びに担当者約30名が参加し、「果樹部会全体会議」を開催した。30年度は、生産振興対策として梨新技術普及促進のため、現地検討会を引き続き開催する他、消費拡大対策としては、県事業のにっこりブランド価値向上の事業を実施し、認知度向上を図ることとした。

その他、梨部会長・副部会長会議及び若手生産者の検討会を開催し、県域における課題の共有化や意見交換を図る取組を行うことを確認した。

栃木夏にら統一目揃え会

５月10日(木)栃木県ＪＡビルにおいて、平成30年産栃木夏にら統一目揃え会がにら生産部会代表者・ＪＡ・市場・関係機関約60名が参加し開催された。今年度から出荷規格が一部改正され、規格遵守と葉長・軟白部の調整を重点的に注意することなどが申し合わされた。

野菜部会全体会議開催

５月15日(火)宇都宮市内において、平成30年度野菜部会全体会議を開催した。地域の特性を生かした野菜産地の育成と低コストで消費者から信頼される安全・安心かつ高品質な野菜の生産拡大を図ること及び各品目の担い手生産者の活動を促進し、需要対応力の高い野菜供給産地としての位置づけを確立するために、野菜品目(トマト・きゅうり・なす・にら・ねぎ・たまねぎ)の研究活動、生産対策、流通対策の実施と関係機関との連携を進めて行くことが決定された。

また、役員改選が行われ野菜部会長にＪＡうつのみやの津野田勝弘氏(にら専門部)が選任された。

栃木県洋蘭生産組合総会開催

５月18日(金)宇都宮市内にて栃木県洋蘭生産組合第48回定期総会を開催した。会員及び関係機関40名が出席し、平成29年度の事業報告・決算報告及び平成30年度の事業計画・収支予算が審議され承認となった。また、役員改選が行われ、南木有一氏(宇都宮市)が新組合長に選任された。南木氏は洋蘭生産組合立ち上げの初代組合長でもある。

総会前には、第46回とちぎ蘭展表彰式が行われ、栃木県知事賞として日向野薫氏(小山市)が受賞した。

「とちぎのいいもの」まるごと産直市

５月17日(木)～20日(日)JR新宿駅にて、栃木県における農産物及びその加工品の販売や、観光PRを開催した。また、とちおとめ、スカイベリー、旬の青果物など、とちぎフレッシュメイトが試食PRを行い、県外の消費者へ美味しさを伝え、栃木県への誘客促進及び県産農産物の消費拡大を図った。

夏秋なす統一目揃え会

５月21日(月)宇都宮市内において、平成30年産夏秋なす統一目揃え会が開催され、なす生産部会代表者・ＪＡ・市場・関係機関など約60名が参加した。今後の栽培管理のポイント・障害果の発生要因と対策が報告され、今後の出荷に際しては、選果選別基準の徹底・品質格差の是正などが申し合わされた。

栃木アスパラガス現地検討会

５月23日(水)ＪＡうつのみやアスパラガス専門部の相良律子様のほ場にて、現地検討会が開催され、県内のアスパラガス生産者・ＪＡ・関係機関など約80名が参加した。

相良様は安定的に高収量を上げておられ、参加者からかん水方法などの質問が寄せられた。情報交換会では、農業試験場から総合的病害虫防除（IPM）についての講話が行われた。

栃木県花き振興協議会総会開催

５月23日(水)宇都宮市内にて平成30年度栃木県花き振興協議会総会を開催した。役員及び事務局員が出席し、平成29年度の事業報告・決算報告及び平成30年度の事業計画・収支予算が審議され承認となった。また、役員の選任については、とちぎ農産物マーケティング協会　安納理事長が再任された。

国産花きイノベーション推進事業(国庫補助事業)の平成29年度事業実績は秀品花き展示・花育体験等59事業で、総額事業費14,073千円を需要拡大事業に活用した。また、平成30年度事業計画では、58の需要拡大事業が計画された他に、新たに生産・供給体制の強化事業が計画され、総予算17,519千円が計上された。

栃木県鉢物研究会総会開催

５月25日(金)宇都宮市内にて平成29年度鉢物研究会総会を開催した。会員及び関係機関40名が出席し、平成29年度の事業報告・決算報告及び平成30年度の事業計画・収支予算が審議され承認となった。また、役員改選が行われ、服部英紀氏(真岡支部)が新会長に選任された。

総会終了後、栃木県農業環境指導センター　渡邉所長補佐兼防除課長による「病害虫の薬剤抵抗性について」と題した、研修会を行った。

いちご部会全体会議開催

５月29日(火)ＪＡビルにおいて、いちご部会全体会議が開催された。平成30年度も、「いちご王国とちぎ」を一層強固にする活動を展開する。生産振興対策として第13回いちご王国グランプリや反収アップセミナー等、各種事業の展開を通して、生産振興・品質向上・消費拡大・PR対策などに取り組むことが確認された。

季刊誌「しもつけの心」へ記事を掲載

「しもつけの心」2018に当協会事業記事を掲載した。

誌面では、道の駅しもつけで開催の「まるごと栃木特産料理教室」で栃木県産特産物かんぴょう・こんにゃく・落花生と鮎を使用した料理教室や、県外飲食店向け産地視察研修会を紹介し、栃木県産農産物の認知度向上及びイメージアップに繋げた。

❖ とちぎ農産物マーケティング協会 *ニューフェイス！* ❖

総務企画部　書記
小磯　朋恵

【担当業務】
・会計事務に関すること
・協会庶務に関すること
・とちぎの地産地消推進店及び旬彩店に関すること
・協会内の補助業務に関すること

【コメント】
・栃木の農産物のおいしさや美しさを広く深くご理解いただけるためのお力になりたいと思います。
よろしくお願い致します。

◆ －新規　とちぎの地産地消推進店－ ◆

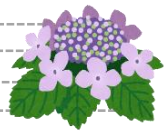
店舗名	住所	電話番号 HP	代表者
でっかしたっけ	宇都宮市駅前通り1-2-9 シティ第一ビル地下1階	028-612-5083 https://hitosara.com/0006017765	店長 青木　佑太

「“とちぎ県産米 おにぎり”コンテスト」開催

高校生や大学生など若い世代を対象に、おにぎりコンテストを開催し、栃木県産米オリジナル品種「なすひかり」「とちぎの星」の品質の良さや良食味を伝え、栃木県産米の認知度向上及びイメージアップに繋げることを目的に開催する。
また、特別審査員に有名料理人（つきぢ田村三代目田村隆さん）や食味鑑定士（澁谷梨絵さん）をお呼びして、これから料理人を目指す学生の、料理の世界への期待や希望に繋げ、栃木県産農産物の消費拡大を図る。

◆◆◆ 6月の予定 ◆◆◆

1日(金)	とちぎフレッシュメイト認定式	（JAビル）
7日(木)	第1回幹事会	（JAビル）
8日(金)	りんどう研究会現地検討会及び総会	（JAかみつが日光営経Ｃ）
11日(月)	とちぎフレッシュメイト知事表敬訪問	（栃木県庁）
13日(水)	第2回理事会	（JAビル）
15日(金)	花咲くとちぎ推進協議会総会	（JAビル）
	花き部会全体会議	（JAビル）
18日(月)	いちご王国グランプリ収量審査会	（JAビル）
20日(水)	平成30年産かんぴょう現地検討会	（JAうつのみや管内ほ場）
26日(火)	特産部会全体会議	（JAビル）
27日(水)	いちご王国グランプリ最終審査会	（JAビル）
29日(金)	第32回総会	（JAビル）



一般社団法人 とちぎ農産物マーケティング協会　（平成３０年６月発行）
TEL: 028－616－8787　FAX: 028－616－8715
http://www.tochigipower.com/　☞「カラダにとちぎ」で検索